

主張

全国保険医
団体連合会の
代議員会が平
成29年1月29
日に東京の都
市センターホテルで開催
された。全国の保険医協
会・医会から代議員

宇佐美副会長は会務
報告の提案で2017年
度に検討される患者負担
増計画に触れるとともに
に、社会保障の基盤であ
る基本的人権を揺るがす
ような改憲は許されない

政策、歯科技工士対策、
診療報酬改善、審査・指
導・監査、病院・有床診、
地域医療、災害対策、原
発、平和、共済、庶務、
組織について120発言
があり、執行部答弁が行

野に入れ国会の議席の中
に社会保障と平和を守る
勢力が多数を占めるよう
に広く働きかけるべきと
の呼びかけがなされた。
格差と貧困を是正するた
めには正規雇用を増や

イハデーへの取り組み
非金屬補綴の保険導入
審査改善運動への取り組
み、組織の退会者慰留対
策、保団連、協会・医会
紹介DVDにつき発言さ
れた。住江会長は討論の

111人、保団連役
員、事務局員など計
284人が参加した。
開会にあたり住江会
長は「年金改革法
案、TTP法案、カ
ジノ法案など次々に
強行採決されてきた。こ

第2回全国保険医団体連合会 代議員会を終えて

まとめて本日の討論
は保団連の意向に沿
い、それを強力に支
持するものであった、
と述べた。提出され
た議案は満場一致で
採択された。医科・
歯科診療報酬引き

のような暴挙でも安倍政
権の支持率は60%台を
維持している。格差が広
がる中で国民の医療を守
るために本日の議論に期
待したい」と述べた。

と述べ、国民医療と憲法
を守る取り組みが今年度
の柱になるとした。課題
として診療報酬・介護報
酬の引き下げ、患者負担
増の阻止などを挙げた。

わかれた。それぞれの分野
でフロア討論がなされた。
負担増阻止の取り組みに
ついて多くの発言が出さ
れた。各協会での企画が紹介
された。

し、賃金を引き上げ、医
療・社会保障を充実する
ことこそ必要とされた。
三重協会からは上林、
村嶋各代議員が参加し、
待合室キャンペーンへの
反響、イレバデーからイ

上げを求める特別決議
案、格差と貧困を是正
し、医療、社会保障の充
実・発展を求める決議案
を採択した。各協会活
動はこの方針に沿い、運
動を進めることになる。

討論では、医療運動、

運動には総選挙を視